



令和3年
1月号



法人 田原公民館
〒1078-1
奈良市 御荷町
TEL 81-0888
発行責任者 清原 弘章

あけまして

おめでと〜うございませう

館長 清原 弘章

流行語大賞に「3密」、今年の漢字に「密」が選ばれ、令和2年は新型コロナウイルスの影響を大きく受けた年、という印象です。

対岸の火事と思っていた令和2年の初頭、間もなく世界的な大流行に。臨時休校・休園した学校園は新学期になっても登校・登園できず、そうこうするうちに緊急事態宣言。体験したことの無い事態に不安になりました。

秋以降は、今でこそ感染者数が増えつつありますが、緊急事態宣言の後は、みんなの意識に「感染防止」があるからか、世界的にも日本の感染者数が落ち着いていたのも事実です。マスクや手指消毒をはじめとした感染予防策は、私たちの暮らしの中すっかりと浸透しています。例年であればすでに流行の兆しを見せるインフルエンザが、今年はほとんど見られていないことにも、感染予防策のしかりとした広まりが一因として挙がっています。

経済活動でも、在宅勤務・リモート会議などを取り入れた働き方改革や、ネット購入などの購買方法の浸透が進み、こちらも

生活様式の急激な変化が感じられます。また地域活動を見れば、集会の自粛や活動の縮小などはあったものの、高円山の大火文字送り火、春日若宮おんまつりなどは、人の集まる部分を除いて本来の行事ごとのみを行うことで、このコロナ禍でも風習・神事を継続されていました。田原の各地域でもお宮さんの御朔日、地域の清掃活動を継続されています。経済活動ほど影響は目に映りにくいですが、地域のくらしの安定のため、裏側や縁の下を支えてきたと言えます。

令和2年を災禍の年だと見る人もいるでしょうが、その中でできることをみんながやってきた、新しい試みに成果を出してきた年でもあると思います。

令和3年はどうでしょうか。延期したオリンピックの開催もあり話題に上りませんが、あると信じて仕上げている選手も多々いると思います。子どもたちもそうでしょう。幼稚園年長組の私の娘も、新しいランドセルや机に興奮し、小学校入学に期待かしていません。もちろん我々大人だって後ろを向いてばかりではありません。

「一年の計は元日にあり」。昨年のことを振り返って整理出来たら、前を向いて今年できること、やりたいことに向かいましょう。



田原公民館では、地域の課題として「放置竹林の整備」を取り上げ、地域の皆さんと共有し、学び、持続した地域活動につなげる事を目指して、令和3年度にも継続して取り組みます。その第一弾として、12月2日(水)の午後に講座を開催しました。

12/2 田原まち創り講座
〜竹の再生〜



竹に関わる地域活動の事例のご紹介として、「NPO法人加茂女」理事長の曾我千代子さんにお越しいただき、空き缶拾いなどの環境美化活動



2/7 田原まち創り講座
〜竹の再生2〜

次回は2月7日(日)に、竹を粉碎する機械を使って竹チップ製作の実演をします。また、竹チップやパウダーの活用について、兵庫県の「バンブーライフ・アグリ」代表の谷口健一さんにお越しいただき、竹の活用についてお話いただきます。

「バンブーライフ・アグリ」では、竹林整備の際に出る竹を活用した製品の開発と販売を行っておられ、田原地域で竹

から始まり、里山の保全と竹の活用など、現在に至るまでのこと、これからのことをお話いただきました。

また地域おこし協力隊の松村さんから、整備されていない竹林の持つ問題と、竹林整備の持続的な活動に繋がる竹の利活用について提案がありました。

最後に田原の町別の地図に、皆さんの知る竹林の場所を記入してもらいました。ゆくゆくは竹林マップ製作を目指します。これをもとに田原の竹林の状況も調べ、より多くの方と竹の整備と活用についてお話していきたいと思っています。



の整備と利活用に取り組み際のヒントがいただけると思います。

とき：令和3年2月7日(日)
午後1時30分〜4時30分
ところ：田原公民館
対象：田原地区在住の成人

※申込みは、電話、FAXでも受け付けています。お気軽に電話ください。

TEL/FAX 0742(81)0888
田原公民館 清原・上西

ちょっと聞かせて!

田原公民館の自主グループ

聞き取り：西久保美文

山丹丹 [二胡演奏]

(余頃 千枝子 さん)

▼グループ結成のきっかけは? ●公民館から「二胡をやってみませんか」とお声がかかったのがきっかけで始めました。二胡がまだなじみのない時でどんなもの...といった感じでした。グループを5人で立ち上げ名前は中国語でツツジの花を表す「山丹丹(シヤンタンタン)」とつけました。

▼「二胡」というのはどんなものですか? ●二胡は中国の民族楽器(弦楽器)です。本体は紫檀、黒檀、紅木と密度の高い木材で作られています。琴筒の部分はニシキヘビの皮がはられ弓は馬の尻尾何本も張られて本体の二本の弦にはさんで上下下で弾きます。



▼活動されていてご苦労されたことは? ●上下のポジションを覚えるのがとても難しいです。でも音色は哀愁があり人の心を癒します。また、一年に一回の田原なんでも文化祭で曲のレパートリーを増やすのに苦労します。

▼活動していて楽しかったこと、印象に残ったことは? ●田原なんでも文化祭で初めて演奏した時、緊張しながらも最後まで無事弾き終わった時、皆さんからの拍手をいただき嬉しかったのがいい思い出となって残っています。

▼今後の活動についてお聞かせ下さい。 ●会員の皆さんは仕事をしながらも月一回時間を合わせて練習し、各自宅でも練習に励んでおります。又いろんなジャンルの曲に挑戦しています。依頼があれば高齢者施設や福祉施設等どこでも演奏していきたいです。

田原味噌作りの会 [味噌作り]

(西田 育子 さん)

▼グループ結成のきっかけは? ●プチ田舎暮らしの講座で味噌作りをしました。その時に大豆を炊いていた圧力鍋が老朽化の為に使えなくなり、これからも美味しい味噌作りを続けていきたいという要望があり参加者で相談して自主グループを結成しました。

▼活動されていてご苦労されたことありますか? ●糀はお米を炊いて種糀(もやし)を入れて作っているのでも糀を寝かせたり発酵させたりするのに時間と場所が必要となります。ある程度の分量でないと上手く作れない為、指導していただいている方のご好意に甘えて活動していることが気にかかっています。

▼活動していて楽しかったことは? ●糀から作るというのはお米を炊いて種糀を入れて混ぜていくのですが、色の変化や糀が出来上がっていく様子や匂い等ふだん目に見えない光景を見る事ができます。力仕事ですが皆さんと和気あいあいと楽しくやっています。又できた味噌はとても美味しいです。



味噌に使う麴作り

▼グループ以外の方にメッセージをお願いします。 ●糀を買って作ったことはある、という方は沢山いらっしやると思いますが、糀作りからするととても美味しい味噌が出来ます。ぜひ一度体験しに来て下さい。

▼今後の活動については? ●毎年なら10月頃から活動していましたが、今年はコロナ禍でできず、どうにか11月にこんやく作りをして、1月にはお味噌を作る予定です。来年度はコロナ感染が落ち着くことを願いながら活動していきたいと思っています。

1月の公民館行事とその他のお知らせ

- 12月27日(日) ↓ 年末・年始休館
- 1月5日(火)
- 11日(月) 成人の日
- 12日(火) 振替休館日
- 17日(日) 名工に学ぶ刃物研ぎ
- 23日(土) TAWARAキッズ⑦
- 29日(金) 老春塾⑦



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さらに延期・変更・中止することがあります。

「十二支」のお話

昔アテレビで見た「まんが日本昔ばなし」にもありました。皆さんも聞いたことありますか? 大昔の話。神様が「一月二日の朝、一番から十二番目までに来たものを一年交代で動物の大将にする」と言いました。それを聞いた

動物たちはまだ暗いうちから一斉にスタートでも猫だけは「二月二日の朝」とネズミが言ったので出発しませんでした。また犬と猿は仲良く並んで走っていたのですが、そのうち必死になり、途中で大げんかを始めました。いよいよ新年の太陽が昇った時、前日の夕方から出発していた牛が一番に現れました。でも牛の背に乗っていたネズミが、牛の背中から飛び下りて神さまの前に走っていき、一番はネズミ、二番が牛になりました。続いて虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鳥、犬、猪、の順番となりました。

奈良市都祁保健センターからのお知らせ

○保健師による妊産婦・乳幼児健康相談

日時	1月19日(火) 10時30分~12時
内容	妊娠中の過ごし方、育児相談、乳幼児の発育発達(体重・身長測定)
場所	どんごが丘コミュニティ広場(旧田原幼稚園)
持ち物	母子健康手帳
申込	不要

○健康講座「レッツ、すっきりボディ!」

日時	2月5日(金) 13時30分~16時(受付は13時から)
内容	検診結果の見かたと生活習慣病の講義、運動の講義と筋トレ・ストレッチの実技、食生活の講義
対象	健康づくりに関心のある方(定員15名)
場所	奈良市都祁保健センター
持ち物	室内運動靴、動きやすい服装、水分補給ができるもの、検診結果や血液検査結果等
申込	1月29日(金)まで。(多い場合は抽選し、落選者のみに連絡)

申込・問合せ
奈良市都祁保健センター 0743(82)0341

神さまと十二支たちが新年のお祝いを始めても、犬と猿はまだケンカをしていました。そこへ騙された猫が現れ、ネズミを追いかけてまわりました。だから、今でも猫はネズミを追いかけていて、犬と猿は仲が悪いという事です。(「まんが日本昔ばなし」よりあらすじ)